

グループホームきくまの家 運営推進会議

令和7年度 第1回
2025年5月31日

グループホームきくまの家 基本理念

- ①ひとりひとりの生活の【気持ち】と【動き】を専門職として気付き、有する能力を最大限に活かすことができる環境づくりや調整を行い“できること”の継続を実践します。
- ②買い物、お祭り、清掃活動などで【地域とのかかわり】を持ち続け1人の住民として、地元へ貢献していくことを支えます。
- ③入居した後の、家族や友人との関係を続けられるように支援します。

【入居状況】

令和 7 年 5 月 31 日 土 曜 日

入居者数

1階	(	9 名)	男性	(	3 名)	女性	(	6 名)
2階	(	9 名)	男性	(	2 名)	女性	(	7 名)

介護度

要介護 1	(	3 名)	要介護 2	(	6 名)	要介護 3	(	8 名)
要介護 4	(	0 名)	要介護 5	(	1 名)	要支援 2	(	0 名)

平均介護度	全体 2.4	1 階 2.1	2 階 2.8
-------	--------	---------	---------

認知症高齢者の
日常生活自立度

I	(	0 名)	IV	(	1 名)	M	(	0 名)
II	(	0 名)	II a	(	2 名)	II b	(	3 名)
III	(	0 名)	III a	(	11 名)	III b	(	1 名)

全員	平均	(	85.3 歳)	最年少	(	75 歳)	最年長	(	96 歳)
年齢 女性	平均	(	85.3 歳)	最年少	(	75 歳)	最年長	(	94 歳)
男性	平均	(	85.4 歳)	最年少	(	79 歳)	最年長	(	96 歳)

・ 在籍日数 最長1868日 最短26日 平均975日

R2年4月～R7年5月までの入居者数

- ・ 自宅から 18 名
 - ・ 高齢者施設から 11 名
 - ・ 医療機関から 2 名
- 合計 31名

R2年4月～R7年5月までの退居者数

- ・ ホームでお看取り 4 名
 - ・ 入院先でご逝去 3 名
 - ・ 高齢者施設へ 4 名
 - ・ 医療機関へ 2 名
- 合計 13名

【職員状況】

令和 7 年

5 月 31 日

土 曜 日

- ・ 開設から～R7年3月29日までの
- ・ R7年4月1日～R8年3月29日までの

- ・ 入職 41 名
- ・ 入職 1 名

- ・ 退職 18 名
- ・ 退職 1 名

【身体拘束廃止について】

- ・ 4 点柵、車椅子ベルト、つなぎ服、などの身体拘束は行っておりません。

センサー使用状況

1階：玄関、廊下、102、106、107 5ヶ所使用

2階：廊下、トイレ、201、206①206②、208、211 7ヶ所使用

きくまの家 の日常



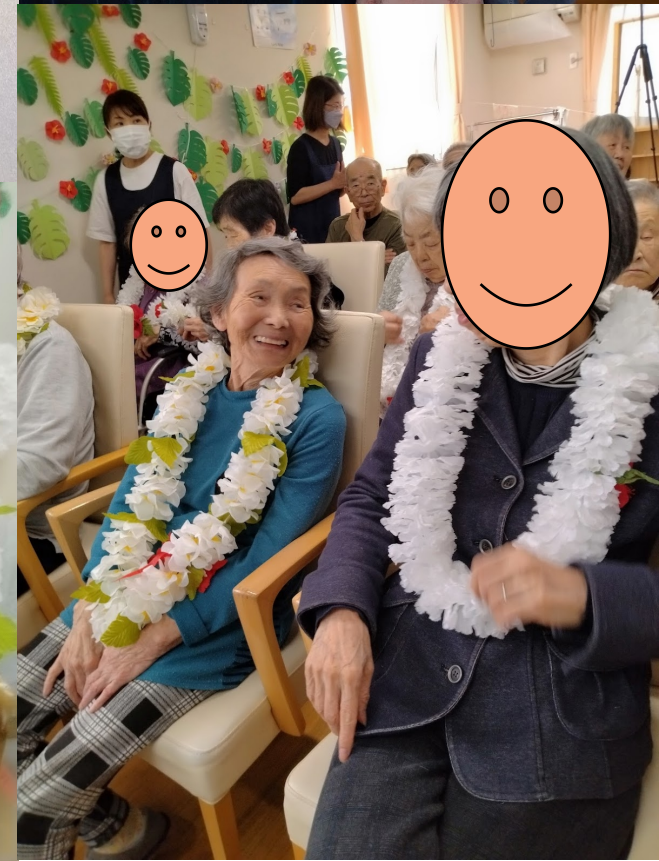
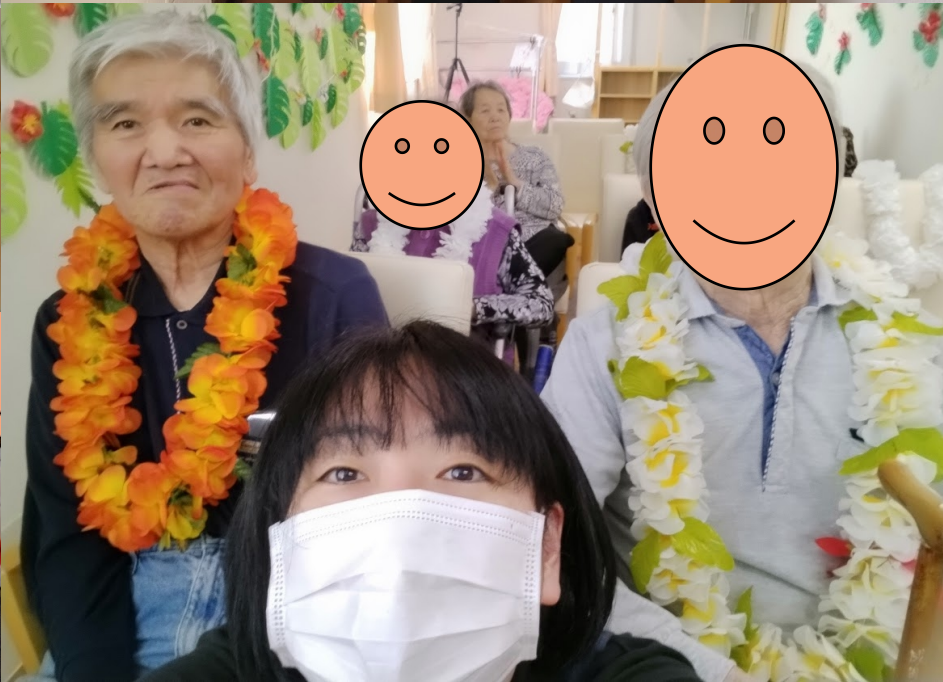
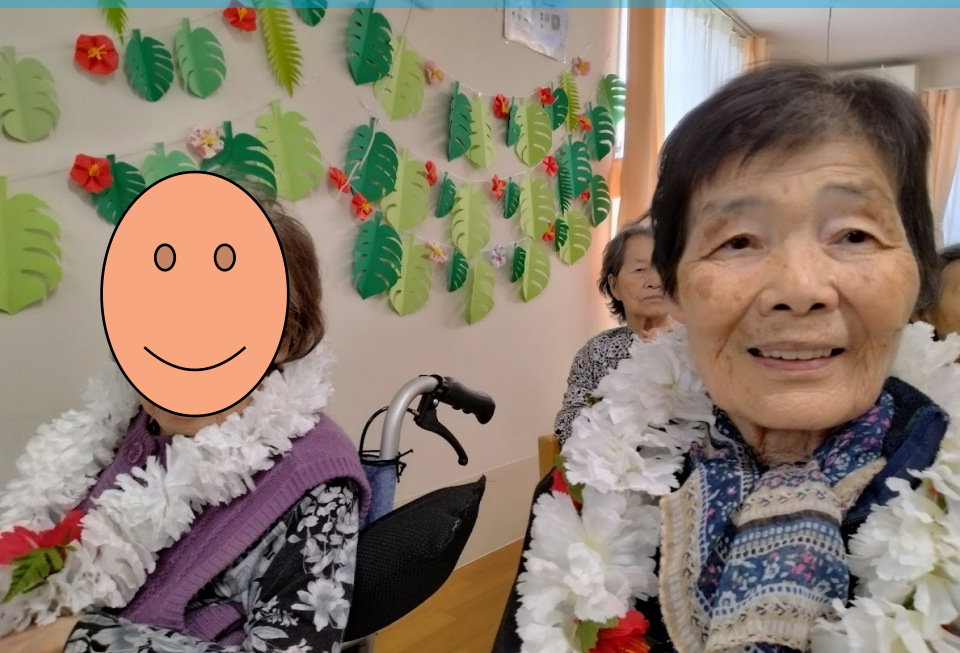


きくまの家 5周年のお祝い



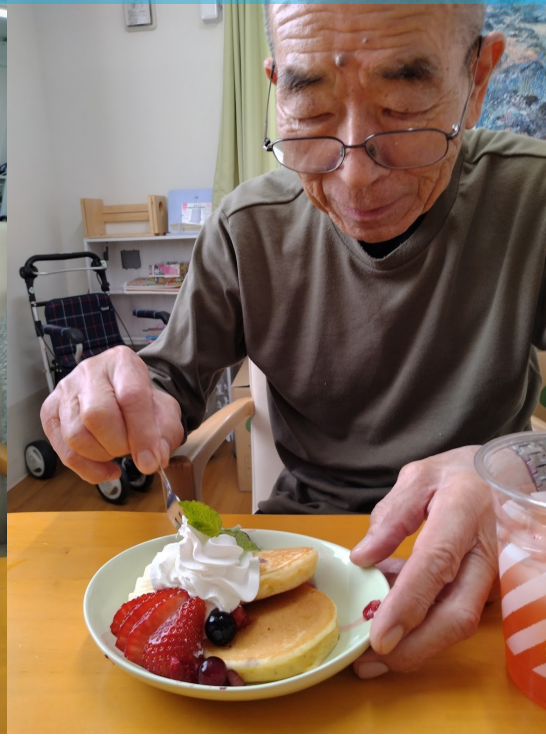
きくまの家 5周年のお祝い

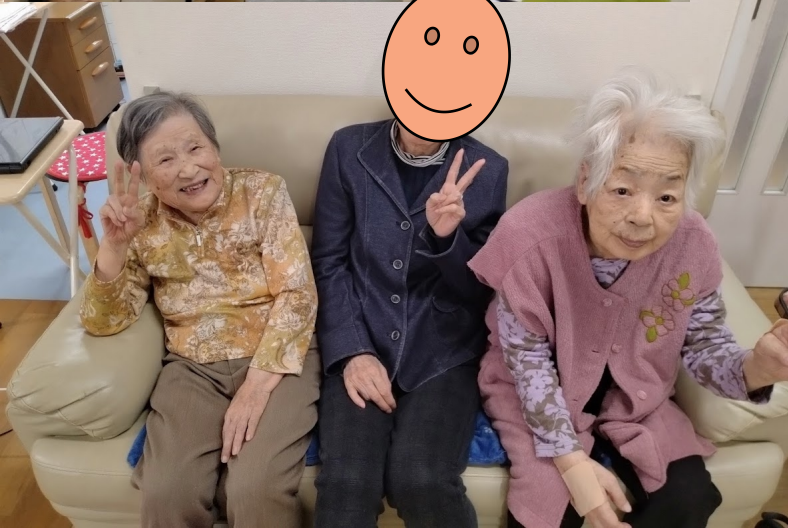
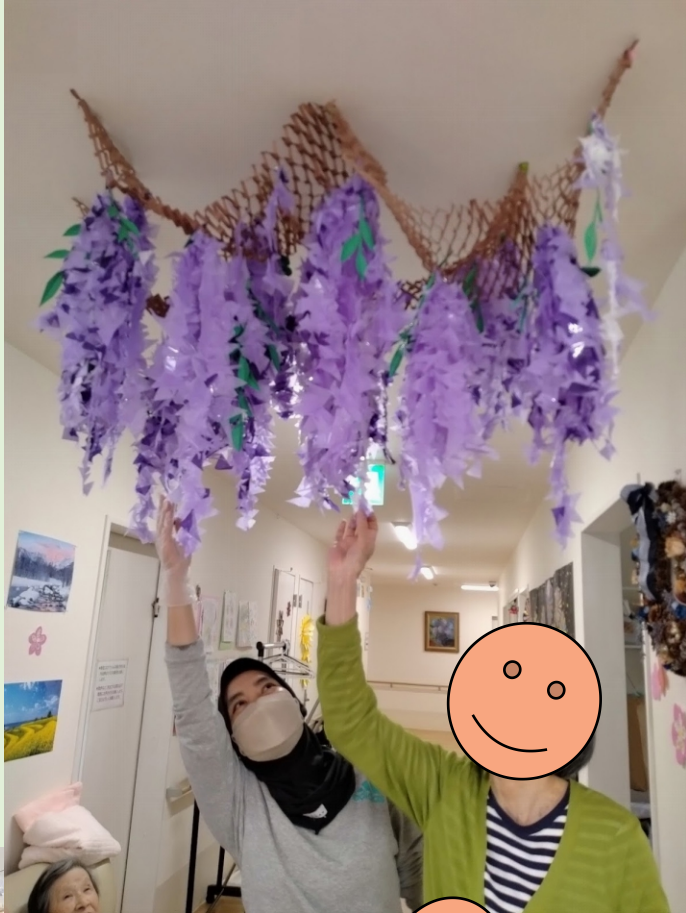
きくまの家 5周年のお祝い





きくまの家 5周年のお祝い





和7年
4月22日(火)

1階

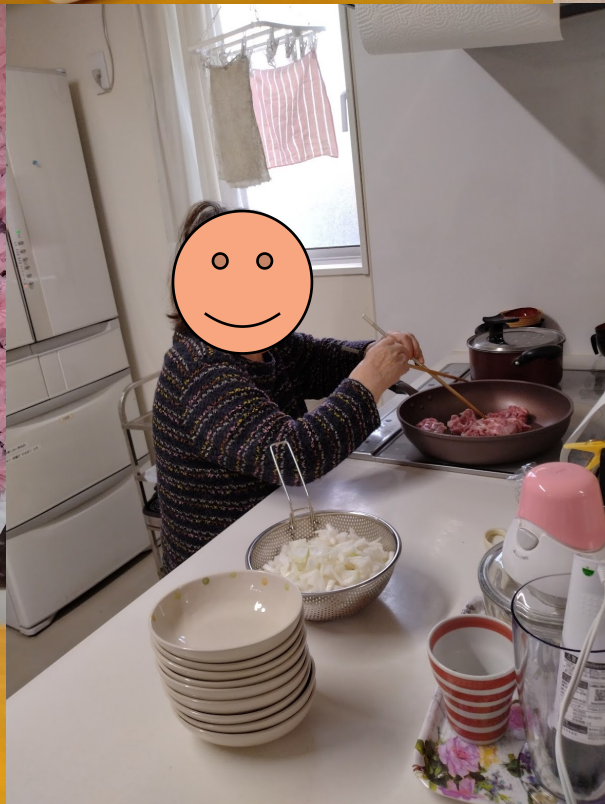


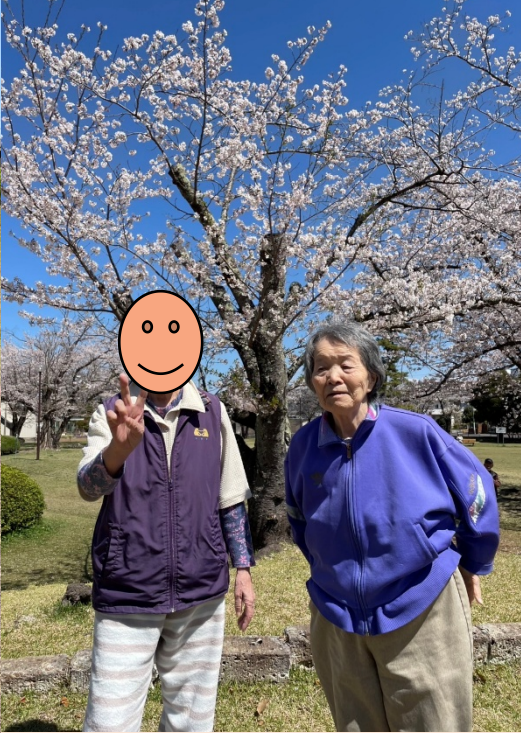
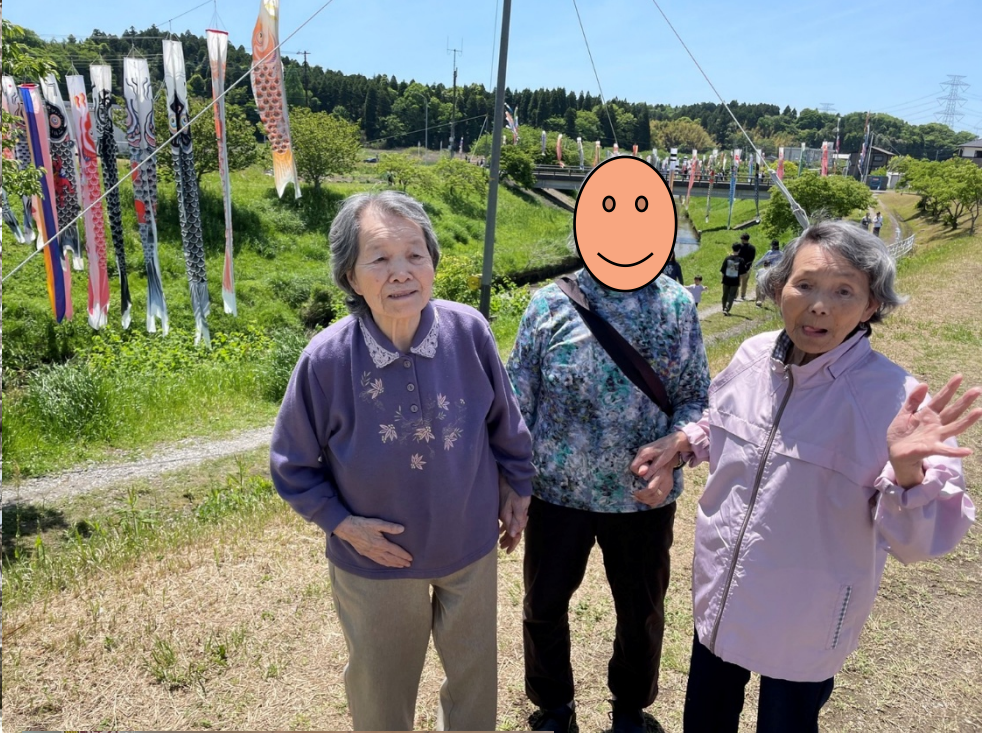


1 階

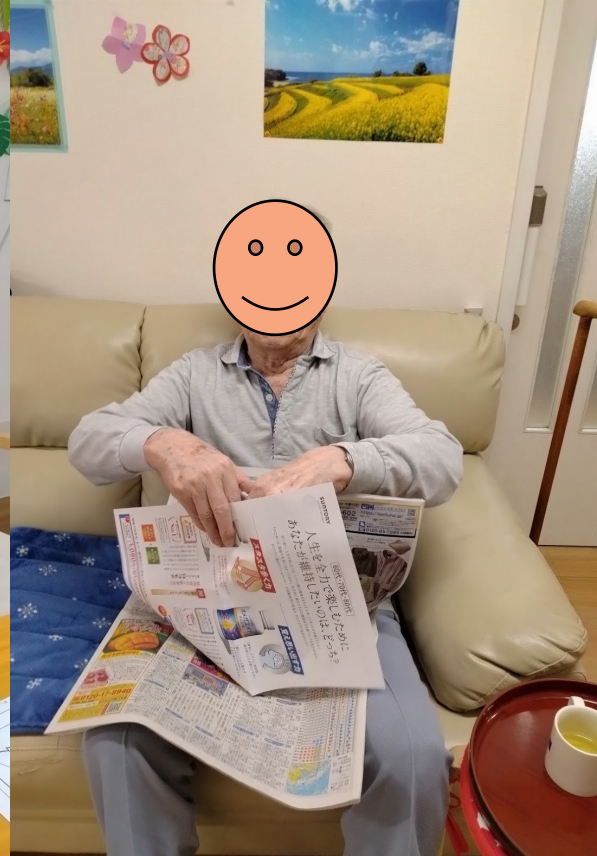
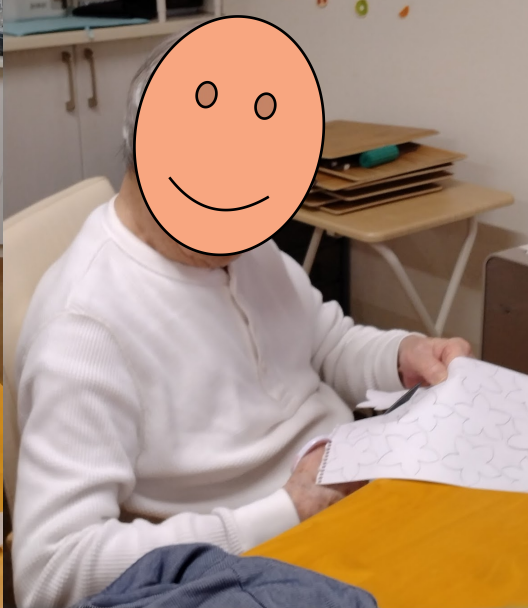


2階





2
階



2階

【虐待防止委員会より】

虐待防止委員会 5月～7月の3ヶ月目標

【具体的な内容】

メインテーマをもとに、引き続き前回と同じ内容①～③に取り組む。

今回は管理者および委員による「他者評価」を行い、それをもとに全職員の個別の課題シートを作成。課題をポイントで明確にして再度取り組んでもらう。

【前回と同じ内容①～③】

①言葉の使い方

ですます調を基本として穏やかな感情で大きすぎない声で話す

②話す時の目線の高さ

椅子を使う、腰を落とすなどで目線の高さを合わせる

③話しかける時の自分の位置

離れた位置ではなく相手に自分を認識してもらう位置

【感染症状況について】

- ・ 入居者に【インフルエンザ、コロナウィルス、ノロウィルスなど】12月以降感染者なし

【事故報告】

4/1

～

5/31

4月

ヒヤリハット
事故報告

23 件
2 件

5月

ヒヤリハット
事故報告

26 件
5 件

Accident 報告

①

5/19

20:20

【2階居室窓から外へ】

事故発生直前の様子

19:15 頃から廊下、トイレ等行き来し、「ダメ、帰りたい」と。一時間程リビングに来ては少し座り
また歩き出す様子が続く為見守り。

20:10 居室に戻り横になった。

発生時の対応

20:25 娘様から電話あり、「GPSが変な所を指しているがいますか？」との事で居室を確認に行く
窓が開いており、本人はおらず。窓からベランダに出て階段を降りてしまったと思われた。

内容 20:30 すぐに娘様とホーム長に連絡し、長女様からGPSの画像を送ってもらいながらホーム長が敷地外探し、
きくまの家から警察に連絡をした。

事故発生後の本人の状況

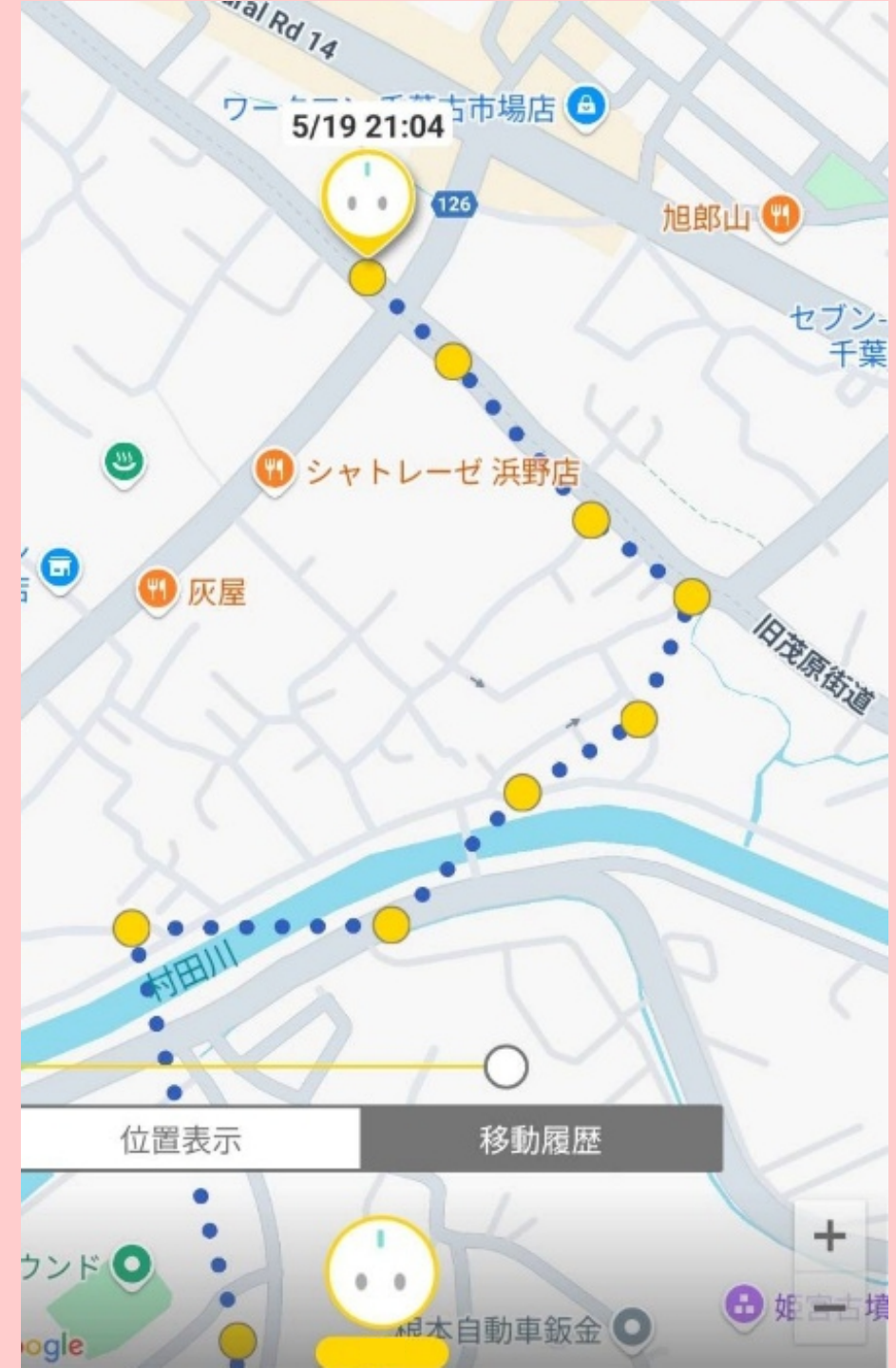
21:05 旧大網街道の大京辺りを千葉市方向に向かって歩いているところを発見。

GPS（きくま➡ガスタンク➡村田川の橋を渡り➡シャトレゼ裏の住宅街➡ファミリーマート➡大京）
ケガはない様子が「連絡できなくて困った」と何度も繰り返していた。

車のドアをチャイルドロックにして、お父さんが待っているから新しい家に戻りましょう。と伝え車に乗ってもらった。

21:15 きくまの家に帰所され安堵の表情。

Accident 報告



A c c i d e n t 報告

事故の原因分析（本人要因・職員要因・環境要因の分析

- ①夜間で出入り口は施錠していたが、居室窓から外へ出ていく予測をしていなかった。
- ②昼間外へ行った際に柵を乗り越えようとしたこともあり、予測が必要だった。
- ③5/6入居後5/18まで外へ行く事が無かったため安心していた。

具体的な再発防止策

対策

- ①居室窓を開かなくしました。
- ②居室窓に開閉センサー設置【侵入者です】
- ③家族に依頼し、きくまの家のiPadでGPSの位置情報が分かるように設定済み
- ④近日中にベッドの位置を窓から離す。

⑤5/21臨時往診で

メマリーOD5mg 1錠、レキサルティOD0.5mg 1錠 1日1回朝食後 14日分処方となった。

- ⑥転落のリスクを考え、居室窓のクレセントを鍵付きのものに変更

Accident 報告



【現在の業務の取り組みなど】

- ・ 紫陽花観賞外出
- ・ 6月災害対策委員会、避難訓練
- ・ 7月虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・ 次回の運営推進会議は7月30日(水)の予定



今後も理念に基づいた運営を行います